

連絡先：(村田 090-1354-5974、三井 090-6412-4658)

今年は梅の開花が例年より遅く、桜の開花は例年より早かったようですね。

春と秋が年々短くなっているような気がします。

昨今、教育に関してよく聞かれる言葉に

「伝統」「文化」「我が国」などがありますが、

私には『我が国の伝統・文化』って季節感に基づくもの

という思いがあります。(人それぞれでしょうけど)

『我が国の伝統・文化』を本当に守ろうと思っているのなら

自国のことばかり考えたり自慢したりしていないで、

地球全体の環境のことを考えていかなければならないし、

他国の伝統・文化を認め合っていくべきだと思います。



呉の中学校教科書採択問題を考える市民集会

3月16日に行いました。報告です！

呉市教育委員会の拠点、つばき会館にて、琉球大学名誉教授にして元・高嶋(横浜)教科書裁判原告の高嶋伸欣(たかしまのぶよし)さんを講師に上記集会を行いました。

教科書採択問題広島県民ネットワーク主催のもと、呉で教科書問題に関して運動を行っている当方「教科書を考える呉の会～未来への架け橋～」と「育鵬社版歴史・公民教科書採択の撤回を求める呉市民の会」が集いました。参加者108名！「席が足りない！」「資料は足りるか!？」の大盛況でした。

教師生活ウン十年、高嶋先生のお話は分かりやすく、しかし「ああ、ええ話聞いたわ」で終わらないところがこの集会の大成功たる所以。「し～ん」となりがちな質疑応答の際に自発的に拳がる手、上がる声…ご紹介します！



○小学校教員

学校教育法の「公正な判断」は利用できる。呉市歌を1番だけ歌っていた学校は、3番まで歌うように市教委から指導があり、次の年からは3番まで歌わされた。その後「仰げば尊し」も3番まで歌うように市教委から指導が入った。呉市教委が歌を決めてくるので、学校として子どもの心にのこる歌が歌えない。教職員が子どものための教材作り以外に力を使っている実態がある。

このようなお仕着せ教育を改善するために、地域や保護者の後押しが必要だ。

○市民

公選で選ばれた教育委員が、採択区にふさわしい教科書を採択するべきだ。

○中学校教員

教科書には「私は国に守られています」と書いてあるが、戦争では原爆で5900人も子どもたちが国に守られずに死んだ。国にだまされない学力をつけたい。大和ミュージアムには日本の行った加害の説明はない。歴史教科書単元『日本の平和主義』で、育鵬社は自衛隊の活躍や領土問題で中韓の脅



威を煽る日本中心の記述だが、他の教科書は原爆ドームを使って平和について考えさせている。

KARAは「日本人を悲しませたくない」と敢えて独島をアピールしない。日本の中学生からも「共有地にしたら」という意見も出る。教育を国策に使うべきではない。

○市会議員

呉市議会は日本会議が6名（34名中）、教育産業委員会に属している。市教委も同じ穴だ。議会で教科書採択の問題を議員に取り上げてほしい。そのためには市民の後押しが必要だ。議会は市民の意見を無視できないしくみになっている。

○市民 教科書問題を多くの市民と共有する必要がある。

○中学校保護者

自分と考えの近い先生と協力したい。先生を紹介してほしい。

○組合役員

学校で署名、チラシを配ると校長が「配ってはいけない」と止める。また、保護者から市教委に「先生がチラシを配っている」と告発もある。呉市全体に教員の動きを止める力が働いている。選定委員の人選について市民からの意見をあげていきたい。

○三原市民

死期高齢化の市民だ。教科書問題は価値観に注目するとりくみが必要だ。国にピンハネされても何とも思わない人作りをしてはいけない。戦争体験者はかつて国に（命や生活や人生を）ピンハネされた経験がある。ピンハネされたら自分の権利を主張する人間を育てないといけない。

○小学校教員

校長が選定委員をしている小中一貫校では、校長が登下校の際に校門に礼をするよう指導している。その様子を監視カメラで撮って指導をしている。

○小学校教員

教職員が校長の方針に反対すると「やめろ」と言われる。

○中学校教員

式では国旗に礼をする。共に闘う仲間がほしい。

○市民

かつて教育委員会は政治から支配を受けないために聖域（アンタッチャブル）として作られた経緯がある。だから、教育委員会が決定したことに対して市民の意見を聞くしくみがないことが問題だ。市民の声を市教委が聞き、市民の意志で教育が動くしくみを作る必要がある。

○市民

教員の声を市教委は聞かないしくみになっている。

続く別室での相談会では高嶋さんから「（横浜の）議会は過半数が自民党なので、大変厳しいが、市民は党派を超えて連携して育鵬社阻止に向けて運動を進めている。呉でも、多くの市民が動きをつくってほしい。」とメッセージがよせられ、顔く二つの会の会員…こくり、こくり

☆「教育委員会会議みまもり隊」、2月22日に行われた教育委員会定例会に、3名の方が傍聴に行ってくださいました。取得された資料はまだHPにもアップされていない「平成25年度呉の学校教育」と題する8ページのレアもの。傍聴に行ってもらってよかった！

表紙の言葉によると「今年度は、ほめて育てることを徹底する中で、「アメニティ環境の創造」をキーワードに、笑顔あふれる快適で心地よい学校づくりに努めてまいります。」とのこと。

誰が誰をほめるのか、誰にとって快適で心地よい学校づくりなのか、みまもらにゃあいけんね!!

